

5 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上に関する事業

ア 青少年指導等の養成・研修事業

B その他

「体験教育・アドベンチャー教育」の手法による“仲間づくり”

チームマネジメント力向上のための研修会

～部活動で生かせる指導方法～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家

〔後援〕 長崎県教育委員会 諫早市教育委員会

〔期日〕 令和5年6月23日(金)10:00～16:30 日帰り

〔会場〕 国立諫早青少年自然の家 第1学習室 ロープスコース

〔参加者〕 スポーツ指導に関わっている方、子供の指導に関わっている方
8名(男性8名)



〔講師〕 後藤 慶太(国立諫早青少年自然の家次長 元長崎県立長崎西高等学校男子バスケットボール部
監督)

〔担当職員〕 小野 栄策、中里 文彦

1)趣旨

スポーツの指導においては、子供の将来を見据えたコーチングスキルを身につけたスポーツ指導者の育成が必要である。そこで、スポーツ(子供)指導者を対象に、体験教育・アドベンチャー教育の基本となる手法や理論を体験的に学び、子供の可能性を引き出す指導の在り方や関わり方を学ぶ事業を実施する。

2)SDGsで目指す姿

		目標4 質の高い教育をみんなに 仲間と協力する活動を通して、安全・安心な学習環境づくりの指導方法を学ぶ。 目標16 平和と公正をすべての人に 仲間と協力する活動を通して、参加型の意思決定を支援する指導方法を学ぶ。
---	---	---

3)目標

- ①スポーツ指導で大切にしているポイントを学ぶ。
- ②I-CAPを行うことで、協働で学ぶことを体験し、その効果を考える。
- ③日常のスポーツ指導でどのように生かせるかを考える。

4)プログラム

1日目
10:00 開講式
10:15 講義・演習Ⅰ「目指すべき指導とは」【写真①】
12:00 昼食(ランチミーティング)【写真②】
13:00 講義・演習Ⅱ「I-CAPを体験しよう」【写真③】
16:00 閉講式【写真④】

5)事業展開

①講義・演習Ⅰ「目指すべき指導とは」



後藤次長による講義「スポーツ指導で大切にポイント」を行った。

②昼食(ランチミーティング)



参加者同士の意見交換を目的に、ランチミーティングを行い、日頃のスポーツ指導について話し合うことができた。

③講義演習Ⅱ「I-CAPを体験しよう」



子どもたちのチームに提供しているI-CAP(諫早コミュニケーションアドベンチャープログラム)を実際に体験した。

④閉講式



閉講式では、参加者に修了証を授与した。

6)評価

①アンケート結果(事業全体に対する満足度)

満足	やや満足	やや不満	不満
100%	0%	0%	0%

②参加者の声

- ・自分の部活動での指導に活かしていきたい。
- ・アイデアを出し合い、仲間と助け合うことの大切さを再確認できた。
- ・昼食の時、アイスブレイクがあり、お互いに意見を言いやすい雰囲気できて、プログラムにスムーズに入れた。

7)成果と課題

①成果

- ・長崎県教育委員会、諫早市教育委員会から後援をいただいたことにより、平日でも出張扱いで参加できる教員が増えた。
- ・体験型プログラムが好評で、今後の指導で取り入れたいという声がたくさん聞かれた。

②課題

- ・さらに多くの指導者が参加できるように内容や広報の方法を考えていく。
- ・定期的に指導者講習会を行い、I-CAPの有効性を広めていく。